

# 医療分野のデジタル化に係る取組について

---

11.9<sup>2022</sup>  
WED

秋田県健康福祉部

## 00. Agenda

---

# 01. 背景

# 02. 取組内容

- ① 急性期診療ネットワーク推進事業
- ② オンライン診療実証事業

# 03. 今後の方向性

# 01. 背景

## 様々な課題

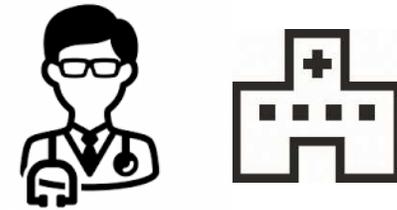
広大な県土



日本一の高齢化率



医療従事者の不足



県民が住み慣れた地域で安心して暮らすためには



どこに住んでいても質の高い医療を受けられる環境の整備が重要

# 01. 背景

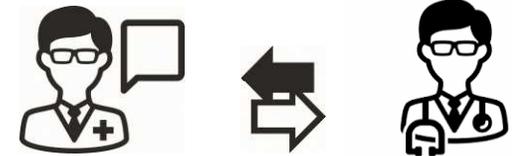
どこに住んでいても質の高い医療を受けられる環境の整備が重要

## デジタル化 によって課題解決にアプローチ

パターン①

**Doctor to Doctor (通称 : D to D)**

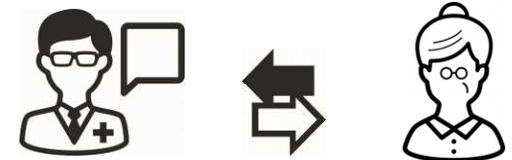
医師 から 医師 への 助言・指導 など



パターン②

**Doctor to Patient (通称 : D to P)**

医師 から 患者 への 診療 など



# 00. Agenda

---

## 01. 背景

## 02. 取組内容

- ① 急性期診療ネットワーク推進事業
- ② オンライン診療実証事業

## 03. 今後の方向性

## 02. 取組内容 -① 急性期診療ネットワーク推進事業

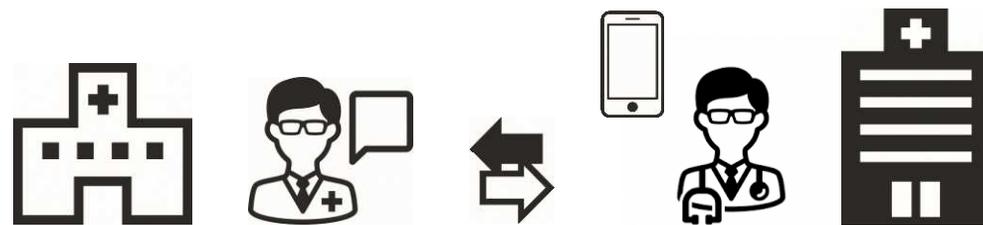
### Doctor to Doctor (通称 : D to D)

#### 目的

- 急性期疾患の発症後、速やかな専門的治療を行う体制に課題を抱えているため、救急告示病院に遠隔画像連携システムを導入し、医療情報（画像等）に係る共有化を図り、病院間での専門的な助言等による初期診断を可能とする。

#### システムの概要

#### 遠隔画像連携システム (シナプスゼロ)

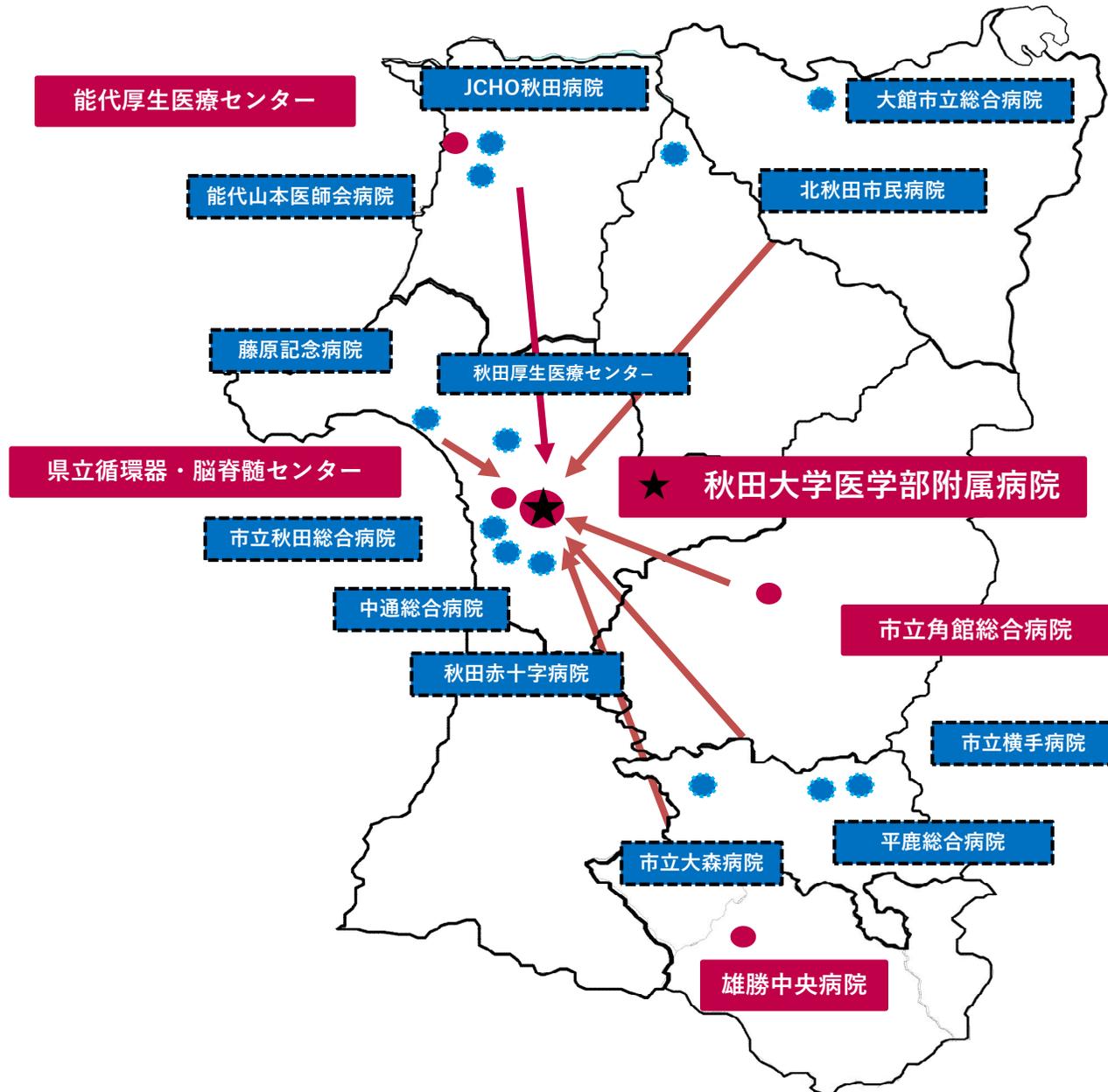


- 病院の医師間や病院間で、画像等の共有・連絡を可能とするシステム。
- 病院外にいる専門医とスマートフォン等のデバイスで情報共有

▶ 病院内に専門医が不在の場合でも、画像を基にした助言が得られる。

▶ 受入先病院で、医療従事者が患者搬送前から事前準備に取り掛かることが可能。

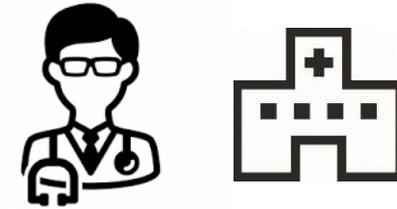
## 02. 取組内容 -① 急性期診療ネットワーク推進事業



### シナプスゼロ導入による救急医療提供体制構築

医療従事者の不足

診療科の地域偏在



どこに住んでいても、早期に適切な治療を受けられる

● 導入済み (5病院)

● 導入予定 (12病院)

# 00. Agenda

---

## 01. 背景

## 02. 取組内容

- ① 急性期診療ネットワーク推進事業
- ② **オンライン診療実証事業**

## 03. 今後の方向性

## 02. 取組内容 -② オンライン診療実証事業

### Doctor to Patient (通称：D to P)

#### 目的

- オンライン診療は、対面診療に比べて得られる【患者の心身情報】が限定されるため、対面診療の『補完』として活用すべき。

『補完』のあり方について実証



IT機器に不慣れ

#### 課題

- 対面診療との役割分担の整理
- 医療資源が乏しい地域でも持続可能な診療報酬体系

- IT機器に不慣れな高齢者等でも利用しやすい仕組みづくり

## 02. 取組内容 -② オンライン診療実証事業

### Doctor to Patient with Nurse (通称 : D to P with N)

#### 課題① 患者情報の不足

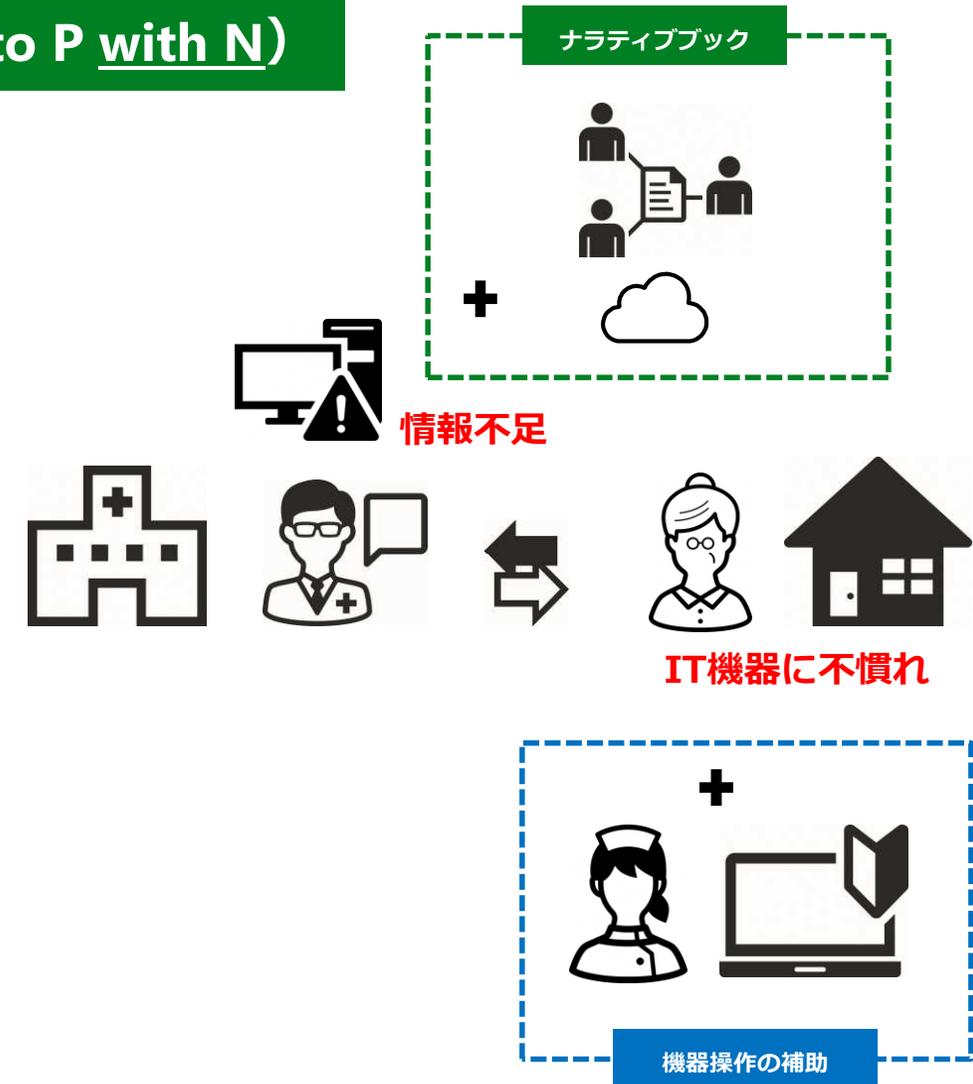
#### 在宅医療・介護連携ICTシステム (ナラティブブック秋田) を活用

- 基礎疾患等の情報累積があるため、患者の状態を把握しやすい
- 普段から多職種でサポートできる体制が構築されている

#### 課題② IT機器に不慣れな高齢者等

#### 訪問看護師が機器操作を補助

- ビデオ通話アプリの設定やバイタルサイン取得などを補助することで、安心してオンライン診療を受診できる



# 00. Agenda

---

## 01. 背景

## 02. 取組内容

- ① 急性期診療ネットワーク推進事業
- ② オンライン診療実証事業

## 03. 今後の方向性

### 03. 今後の方向性

冒頭で挙げた課題

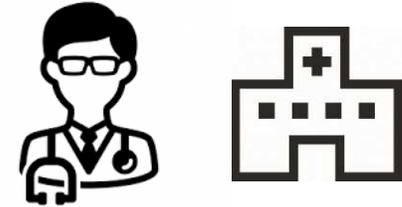
広大な県土



日本一の高齢化率



医療従事者の不足



—デジタル技術を用いた様々な取組により、限られた医療資源を有効活用—

Doctor to Doctor (通称 : D to D)

Doctor to Patient (通称 : D to P)



持続可能な医療提供体制を構築し、県民が安心して暮らせる地域を実現

ご清聴ありがとうございました。

---